

# 11、ケアプランナー・指定相談事業所連絡会

## 執行部

植村美香(ウィズ相談支援センター) 吉田千恵(ケアサービス・りんどう相談支援事業所)

坂本麻衣子(相談支援室ひまわり) 宇野耕太郎(ほっとらいふ相談室桃の郷)

## ケアマネ連絡会

二木里美、川俣伸枝(長野市南部障害者相談支援センター) 小池 晶代(まい・すてっぷ)

窪田小百合(ベターデイズ)

長野市障害福祉課担当者 立原博之 松本岳史

## 1、年間テーマ

「地域課題につながる困りごと」～プランナーの悩みが大切～

## 2、部会等の開催状況

日時		会場	人数 (人)	部会のテーマ	主な内容
月	日				
4	15	市役所		だれでも研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援専門員の役割</li> <li>ケアプラン作成について</li> </ul>
7	1	ふれあい福祉センター	37	執行部の紹介 新型コロナウイルス関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>プランの書き方、支給量の考え方等</li> <li>新型コロナウイルス関連</li> <li>長野市障害者相談支援センター(案)について【グループワーク】</li> </ul>
8	7	市役所	29	委託専門員と相談支援 専門員との連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラン作成以外の業務について</li> <li>ケアマネとの連携について</li> <li>コロナに対する調整等・課題の共有【グループワーク】</li> </ul>
10	7	市役所	27	地域課題について	個人の課題共有から地域の課題として捉えていく。【グループワーク】
2	5	中部公民館	32	ケースワーカーと話そう	障害福祉課ケースワーカーとのコミュニケーション【グループワーク】

## 3、機関紙、冊子、アンケート調査・行事など報告書

- 今年度の振り返りと来年度に向けての、アンケート実施。

## 4、課題について

### (1) 主な検討課題

- ・アンケート内容、執行部で意見を出し合い毎回の内容を決めた。

### (2) 検討の目的と結果（現状）

### (3) 引き続き検討が必要とされる課題

### (4) 部会の運営体制について

- ・ケアマネ、市ケースワーカー、相談支援専門員が連携し運営を行った。
- ・年間予定では隔月の開催予定であったが、新型コロナの影響により7月、8月、10月、12月、2月に開催した。また参加者を各事業所1人に限定し開催を行った。
- ・各回のテーマは年度末のアンケートと執行部での意見をまとめた上で設定した。
- ・執行部は市内北部・南部から2名ずつ新旧の調整をしながら選出。

## 5、総括（1年間を振り返って）

プランナーの抱える困りごとを共有できる場として1年間取り組みを行った。新型コロナの影響によりイレギュラーな開催となったが、個で困っている事を連絡会の中で関係者と共有を行った。個での困り感を地域の課題として捉えていく事が出来ないかと考え、毎回テーマを設定し連絡会を開催した。

また業務の手続きに関する困難もアンケートの中で聞かれ、長野市からの情報提供、プランに関する説明、新規事業所の情報提供、また今年度もケースワーカーと直接コミュニケーションを取れる場も設ける事が出来た。特に少人数事業所では他に相談出来る相手がいない、孤独や不安を感じている等の意見も聞かれ連絡会で他の相談員と繋がりを作れる場としても開催する事が出来た。

新型コロナの影響により各事業所1名の参加等制約を設けての開催となったが、来年度も関係者でコミュニケーションを取れる場として様々なテーマを検討しながら開催していきたい。